

平成22年度
文部科学省 防災教育支援事業
－防災教育支援事業の体制作りと実践－

小中学校まなぼうさい教室支援事業報告書

平成23年3月
徳島県

目 次

はじめに	1
I 委託事業の概要	2
1 事業全体の具体的手法と期待する効果	
II 委託事業の実施体制	2～3
1 事業代表者・個別テーマ責任者	
2 防災教育推進委員会及びワーキンググループ	
3 事業協力機関	
III 活動概要	4
IV 個別テーマの成果報告	6
1 防災科学技術教育関連教材等の作成	
2 学校の教職員等を対象とした研修カリキュラムの開発・実施	
3 実践的な防災教育プログラムの開発・実施	
4 その他、地域の実情に応じた先進的な取組の実施	
V まとめ	19
参考資料	20
○「防災教育推進パートナー」	
○「防災教育支援ホットライン」(相談窓口)	
○「小中学校まなぼうさい教室」	
○モデル校における実践・検証アンケート結果	
○モデル校における応急手当法の実践資料	
○県立防災センター体験カリキュラム(例)	
○県立防災センター体験学習振り返りシート	
「小中学校まなぼうさい教室」教材集	46

防災教育支援事業 —防災教育支援の体制作りと実践—
平成22年度「小中学校まなぼうさい教室支援事業」概要

はじめに

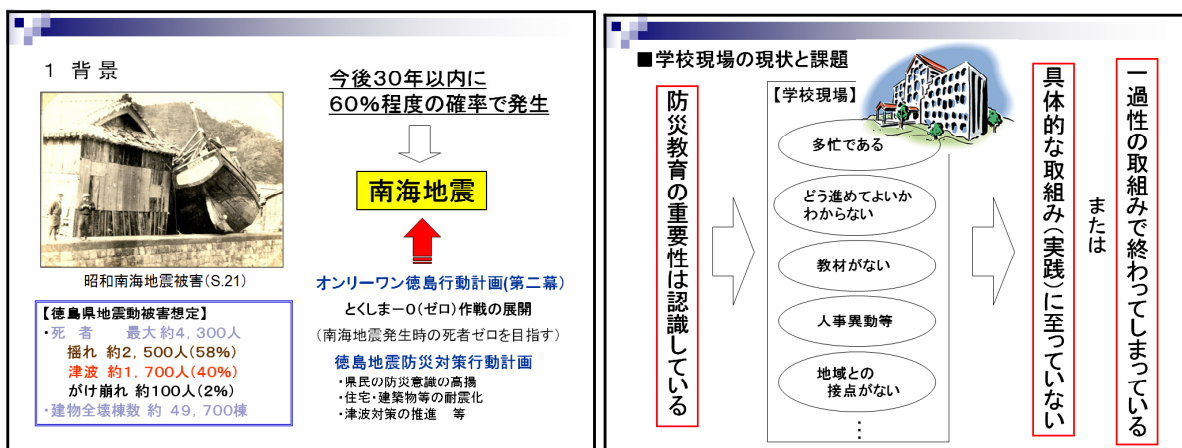
南海地震は、過去歴史的に100年から150年の周期をもって繰り返し発生し、本県に大きな被害をもたらしています。

徳島県では、この南海地震が、今後30年以内に60%程度の確率で発生し、最大で死者4,300人という、甚大な被害が想定されています。

このため、徳島県においては、南海地震を県政の運営指針である、オンリーワン徳島行動計画（第二幕）に位置づけ、「南海地震発生時の死者ゼロを目指す」という理念のもと、「とくしまー0（ゼロ）作戦」を展開し、具体的な計画の下で積極的に各種施策を推進しています。

一方、学校現場では、防災教育の重要性は認識しているものの、多忙である、どう進めてよいかわからないなど、なかなか具体的な取組に至っていない、または、積極的な取組があっても、人事異動等の様々な事情により、せっかくの取組が一過性に終わってしまうといった現状がありました。

このことから、徳島県では、平成21年度・22年度の2カ年をかけ、地域や学校における防災教育の推進を支援してきました。



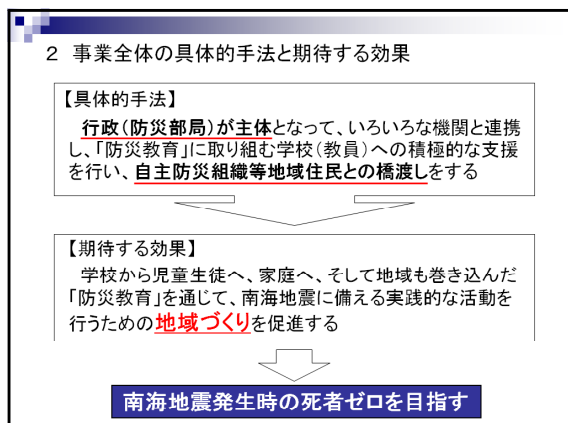
【参 考】

- 文部科学省地震調査研究推進本部 地震に関する評価 長期評価結果一覧
 → http://www.jishin.go.jp/main/p_hyoka02_chouki.htm
- オンリーワン徳島行動計画（第二幕）
 → <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2007070500025/>

- 徳島県防災・危機管理情報 → <http://anshin.pref.tokushima.jp/normal/earthquake/index.html>
- 安心とくしま (南海地震)
- 徳島県地震防災対策行動計画
- 徳島県被害想定

I 委託業務の概要

事業全体の具体的手法と期待する効果



「小中学校まなぼうさい教室支援事業」により、行政の防災部局が主体となって、大学等の関係機関と連携し、「防災教育」に取り組む学校への積極的な支援を行います。

具体的には、行政が、学校と自主防災組織等地域住民との橋渡しをし、学校から児童生徒、家庭へ、そして地域も巻き込んだ「防災教育」を通じて、南海地震に備える実践的な活動を行う「地域づくり」を進め、最終的に「南海地震発生時の死者ゼロ」を目指します。

II 委託業務の実施体制

1 事業代表者・個別テーマ責任者

(1) 事業代表者

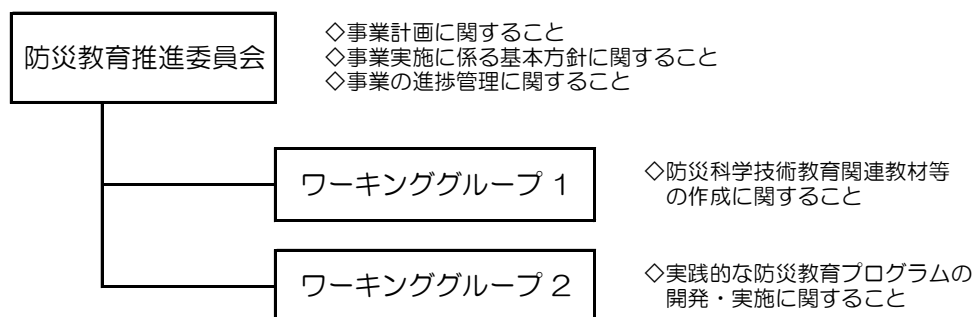
徳島県危機管理部南海地震防災課 課長 稲垣 敏弘

(2) 個別テーマ責任者

- テーマ1 防災科学技術教育関連教材等の作成
- テーマ2 学校の教職員等を対象とした研修カリキュラムの開発・実施
- テーマ4 その他、地域の実情に応じた先進的な取組の実施
(責任者) 徳島県危機管理部南海地震防災課 課長 稲垣 敏弘
- テーマ3 実践的な防災教育プログラムの開発・実施
(責任者) 徳島県教育委員会体育健康課 課長 佐野 義行

2 防災教育推進委員会及びワーキンググループ

事業の実施にあたっては、「防災教育推進委員会」において進捗管理等を行うとともに、個別テーマに合わせて適宜ワーキンググループを設置し、事業を推進します。



【防災教育推進委員会】

所 属	職 名	氏 名
徳島大学環境防災研究センター	センター長	村田 明広
(社) 徳島新聞社総務部	部長	内海 祐次郎
四国大学短期大学部幼児教育保育科	教授	渡邊 由美子
ホワイトベースとくしま	代表	中野 晋
徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科	教授	篠原 靖典
日本赤十字社徳島県支部	事務局長	三木 章男
前 徳島県自主防災組織連絡会	会長	松下 恭司
徳島県危機管理部南海地震防災課	課長	稲垣 敏弘
徳島県教育委員会体育健康課	課長	佐野 義行

【ワーキンググループ 1】 テーマ：防災科学技術教育関連教材等の作成

所 属	職 名	氏 名
名古屋大学災害対策室	助教	黒崎 ひろみ
(社) 徳島新聞社	係長	末澤 弘太
四国大学短期大学部幼児教育保育科	講師	中村 真理子
徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科	講師	山城 新吾
徳島県危機管理部南海地震防災課	係長	吉成 浩二
徳島県危機管理部南海地震防災課	係長	吉田 恵子
徳島県教育委員会体育健康課	指導主事	浜井 俊洋

【ワーキンググループ 2】 テーマ：実践的な防災教育プログラムの開発・実施

所 属	職 名	氏 名
美波町消防防災課	係長	浜行 洋美
美波町教育委員会	課長補佐	浜西 清治
美波町西の地防災きずな会	会長	酒井 勝利
徳島県危機管理部南海地震防災課	係長	吉成 浩二
徳島県危機管理部南海地震防災課	係長	吉田 恵子
徳島県教育委員会体育健康課	指導主事	浜井 俊洋

3 事業協力機関

徳島大学環境防災研究センター
 四国大学短期大学部幼児教育保育科
 徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科
 (社) 徳島新聞社
 日本赤十字社徳島県支部
 徳島県自主防災組織連絡会
 徳島県教育委員会体育健康課
 美波町消防防災課
 美波町教育委員会
 美波町西の地防災きずな会

Ⅲ 活動概要

◇ 防災教育支援事業に係る会議・講座等開催状況

開催日	場所	会議等名称	参加人数等	内容等
H22.4.29 ～5.5	防災センター	防災教育啓発展	約2,100名	ゴールデンウィークにおける親子連れを対象とした防災イベントでの防災教育の取組成果のパネル展示等
H22.6.30	防災センター	推進委員会	10名	H21事業実績報告、H22事業計画等についての協議・検討
H22.7.31	防災センター	防災学習	約80名	小学校中高学年を対象に、楽しみながら防災について学ぶことのできる「こども防災教室」を開催
H22.8.5	美波町役場	WG協議	7名	防災教育プログラム等の開発に係るH22年度事業計画やスケジュールなどについて協議
H22.8.12	美波町 由岐公民館	防災学習	約30名	地域自主防災組織等との連携・協力の下、小学生を対象に、家具転倒防止をテーマとした学習会を開催
H22.8.26	総合教育センター	ボランティア研修	約20名	教職員を対象に、防災とボランティア活動等に関する研修を開催
H22.9.30	南部防災館 ほか	防災バス (地域報告)	約20名	自主防災活動や県の防災施設見学、取組の説明
H22.10.27	文部科学省	中間報告会	11名	H22事業中間報告
H22.10.31	防災センター	防災教育啓発展	約2,800名	防災フェスタでの防災教育支援事業の取組内容・成果等のパネル展示
H22.10.31	防災センター	標語コンクール 表彰式	応募点数 1,335点	小中学生対象の地震津波防災標語コンクール入賞作品の表彰及び展示(入賞作品13点)
H22.11.9	県医師会館	学校安全教室・学校安全教育指導者 研修会	約150名	南海地震の基礎知識、防災教育支援事業ほか県の取組について説明
H22.11.16	防災センター	青少年指導者研修	約50名	防災教育支援事業をはじめとする県の取組紹介や、防災マップ等学習教材の利用や指導手法の実践的研修
H22.11.17	徳島文理大学	個別WG協議	9名	教材作成企画骨子、全体スケジュール等について協議
H22.11.24	徳島文理大学	個別WG協議	8名	教材映像・アニメの構成・内容、今後のスケジュール等について協議
H22.12.1	徳島文理大学	個別WG協議	8名	教材映像撮影・インタビュー取材、今後のスケジュール等について協議
H22.12.6	四国大学	個別WG協議	3名	教材内容等についての専門的視点からの意見聴取等
H22.12.11	牟岐町海の総合文化センター	啓発講座 (地域報告)	約200名	南海地震の基礎知識、防災教育支援事業ほか県の取組について説明
H22.12.14	美馬市うだつアリーナ	防災啓発展 (地域報告)	約100名	防災教育支援事業をはじめとする県の取組のほか、非常持出品や非常食等に関するパネル展示等による啓発
H22.12.14	三好市体育館	防災啓発展 (地域報告)	約00名	防災教育支援事業をはじめとする県の取組のほか、非常持出品や非常食等に関するパネル展示等による啓発

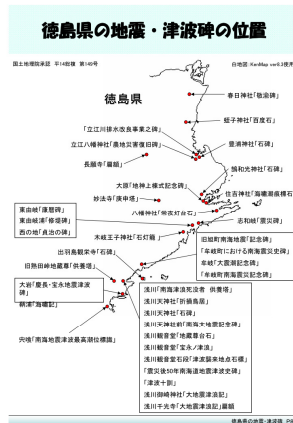
開催日	場所	会議等名称	参加人数	内容等
H23.1.15	防災センター	啓発講座 (地域報告)	約60名	防災教育ほか県防災行政施策、災害ボランティア関係についての講義
H23.1.17	鳴門教育大学	防災講座	約120名	南海地震の基礎知識、防災教育支援事業ほか県の取組について講義
H23.1.19	鳴門教育大学	防災講座	約100名	南海地震の基礎知識、防災教育支援事業ほか県の取組について説明
H23.1.19	美波町役場	WG協議	6名	「防災教育プログラム集」の作成案、モデル校における防災授業の実施等について協議
H23.1.24	徳島大学	防災講座	約50名	南海地震の基礎知識、防災教育支援事業ほか県の取組について講義
H23.1.25	県庁	まなぼうさい活動賞検討会	8名	小中高校、特別支援学校の防災活動を表彰する県知事表彰の審査(表彰校数6校)
H23.2.2	日和佐小学校	モデル校実践	約60名	地域の自主防災会や町役場等の参加協力の下、開発した教材を用いた防災授業や応急手当法の実践活動等
H23.2.7	総合教育センター	防災教育推進大会 (地域報告)	約370名	防災教育支援事業活動報告、教員に対する防災研修、まなぼうさい活動賞県知事表彰式、表彰校実践事例発表、防災教育に関する講演会など
H23.2.23	文部科学省	年度末報告会	15名	H22年度末報告、今後の取組について説明

活動については、主なものを記載

県内に残る地震・津波碑（1）



徳島県
【監修】
徳島大学環境防災研究センター



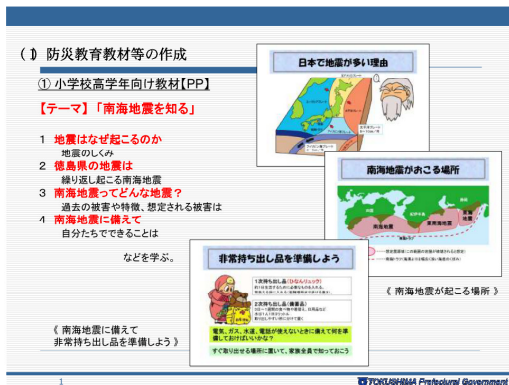
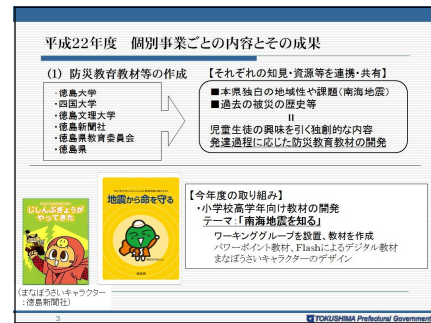
「南海地震を知る 徳島県の地震・津波碑」

徳島県内には、他に例をみない古い貴重な地震・津波碑が多数残されています。

地震・津波防災には、今後の地震・津波防災に生かすべき有用な多くの教訓が刻まれています。

IV 個別テーマの成果報告

1 防災科学技術教育関連教材等の作成



(1) 当該年度における成果の目標及び業務の方法

各大学や防災関係機関、教育関係機関等が連携して、科学的・学術的な知見を踏まえ、徳島県独自の地域性や課題等を盛り込んだ児童生徒の興味を引く教材（冊子、パワーポイント、DVD等）を、特に発達段階に応じた小学生向け教材に重点をおいて開発・作成します。

平成22年度は、平成21年度に作成した小学校低学年用の教材を基に、小学生高学年向けに高度化した教材の開発を行います。

また、総合的な学習の時間に対応できるカリキュラムを作成します。

(2) 成果

平成22年度は、小学校高学年を対象に「南海地震を知る」を共通のテーマに取り組みました。

パワーポイント教材は、徳島新聞社のまなぼうさいキャラクターを用いることにより児童生徒に親しみやすいものとするとともに、本県の重要課題である南海地震をテーマに、地震発生の仕組みや歴史を取り上げるなど、平成21年度の内容からより踏み込んだものとして作成しました。(P48)

また、県と徳島大学環境防災研究センターが実施した「南海地震の地震・津波碑の調査」を基に、徳島文理大学メディアデザイン学科が、地震・津波碑を題材とする映像教材「津波碑から学ぶ とくしま地震の歴史」を作成しました。(P49)

このほかにも、県内の防災教材として、美波町由岐地区の自主防災組織「西の地防災きずな会」が、徳島文理大学と徳島大学環境防災研究センターの協力のもと、昭和南海地震体験談を中心とした地域独自の防災動画教材を制作しています。

(2010年防災教育チャレンジプラン) (P50～P52)

また、総合的な学習の時間に対応するカリキュラムを作成しました。(P39～P44)

※ 詳細は、「小中学校まなぼうさい教室」教材集46ページから参照。

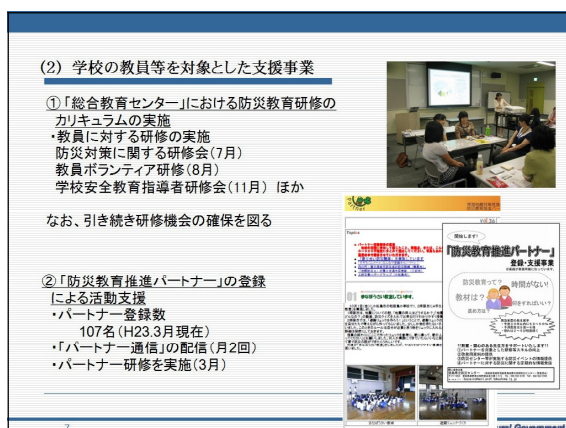
2 学校の教職員等を対象とした研修カリキュラムの開発・実施

(2) 学校の教員等を対象とした支援事業

①「総合教育センター」における防災教育研修の
カリキュラムの実施
・教員に対する研修の実施
防災対策に関する研修会(7月)
教員ボランティア研修(8月)
学校安全教育指導者研修会(11月)ほか

なお、引き続き研修機会の確保を図る

②「防災教育推進パートナー」の登録
による活動支援
・パートナー登録数
107名(H23.3月現在)
・「パートナー通信」の配信(月2回)
・パートナー研修を実施(3月)



③「防災教育支援ホットライン」(相談窓口)
・「防災教育支援ホットライン」での相談・支援

④「地域報告会」の開催
・地域住民や市町村等関係機関に対し、
防災教育支援事業について普及啓発

⑤「小中学校まなぼうさい教室」の開催
・県立防災センター職員が小中学校へ出向いて
防災講座を開催 38回実施
(小学校29回、中学校8回、特別支援学校1回)
(H23. 1月現在)



(1) 当該年度における成果の目標及び業務の方法

徳島県立防災センターが主体となり、防災関係機関や自主防災組織等地域住民が一体となって取り組むことができる研修プログラムの開発・実践を行います。

平成22年度は、平成21年度の成果を徳島県内全域へ広めるための研修会を実施します。

具体的には、

- ・平成21年度において検討した徳島県総合教育センターが実施する教職員に対する防災研修のカリキュラムを、平成22年度において実施することとします。
 - ・平成21年度に募集した「防災教育推進パートナー」を、平成22年度においても引き続き募集し、研修や防災情報の提供等その活動を支援するため「パートナー通信」を配信します。
- また、「防災教育推進パートナー」としての活動を取りまとめて、各パートナーへの情報提供を行い、各パートナーの活動の活性化につなげます。
- ・平成21年度に徳島県立防災センターに設置した「防災教育ホットライン」(教職員等から防災教育に関する相談を受け付ける一元的な窓口)について、平成22年度も周知を図るとともに、相談内容をパートナー通信にも掲載し、情報の共有化を図っていきます。
 - ・①での成果を活用して、防災関係者等が学校へ出向いて行う「小中学校まなぼうさい教室」(防災出前講座)の周知・開催を行います。
 - ・自主防災組織等地域住民への防災教育の啓発のための研修会を、徳島県内全市町村において行います。

(2) 成果

① 「県立総合教育センターにおける防災研修カリキュラムの実施」

■平成22年度における教員に対する防災研修の実施

防災対策に関する研修会(7月)、教員ボランティア研修(8月)、
学校安全教室・学校安全教育指導者研修会(11月)ほか

■平成23年度における教員等への防災研修に関する研修機会の確保

県立総合教育センターにおける来年度研修計画策定の中で、防災教育に関する研修時間の確保についての検討がなされ、新たに、初任者研修をはじめとする教員研修に、防災教育に関する項目が設けられることとなりました。

平成23年度予定：初任者研修、防災・ボランティア研修、学校事務職員
研修会、学校安全教室・学校安全教育指導者研修会等

② 「防災教育推進パートナー」の登録による活動支援

防災教育に対して熱意のある教員を「防災教育推進パートナー」として登録し、防災に関する様々な情報を「パートナー通信」として定期配信するとともに、パートナーに対し研修を実施し、その活動を支援しています。

- 「防災教育推進パートナー」の継続的募集

- パートナー登録者数（H23.3月現在） 107名

- 「パートナー通信」の配信（月2回）

- パートナー研修の実施

日時・参加人数：3月17日（木）10:00～11:30 9人

3月18日（金）10:00～11:30 13人

場所：徳島県職員会館第1・第2会議室

内容：事業説明

研修1 南海地震に備えて

研修2 クロスロード

※ 詳細は、「参考資料」22ページを参照。ぜひご登録ください。

③ 「防災教育支援ホットライン」（相談窓口）の設置

県立防災センターにおいて、防災教育に関する相談を随時受け付ける窓口を設置するとともに、パートナー通信とも連携させ、情報の共有化を図っています。

- 「防災教育支援ホットライン」の取り組み実施

- 啓発資料等の提供、ビデオ教材・パネル・防災グッズの貸出、授業の構成等の相談を実施

※ 詳細は、「参考資料」24ページを参照。ぜひご活用ください。

県内に残る地震・津波碑（2）

春日神社「敬渝碑」



所在地 板野郡松茂町中喜来字牛飼野西ノ越30

建立 安政3年(1856)

春日神社境内



「敬渝」には「変をおろそかにしない」という意味があり、春日神社境内に建つ敬渝碑には、安政南海地震(1854.12.24)の時の地震や津波の様子が漢詩で刻まれています。

◇ 防災教育推進パートナー通信の配信状況（平成22年度）

配信日	情報内容等
H22 4. 9	トピックス・地域情報（自主防災組織活動事例報告ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（推進パートナー募集ほか）、防災クイズ
4. 23	トピックス・地域情報（洪水ハザードマップ（勝浦町）ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（GW防災キッズ企画展ほか）、防災クイズ
5. 7	トピックス・地域情報（避難所HUG実施（徳島市）ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（チリ地震津波50周年記念シンポジウムほか）、防災クイズ
5. 21	トピックス・地域情報（木造住宅耐震診断事業（徳島市）ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（徳島県南部防災館オープンほか）、防災クイズ
6. 11	トピックス・地域情報（寄り合い防災講座実施中ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（知っておきたい防災講座ほか）、防災クイズ
6. 25	トピックス・地域情報（土砂災害ハザードマップ（小松島市）ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（県立防災センター来館者20万人達成ほか）、防災クイズ
7. 9	トピックス・地域情報（防災マップ（佐那河内村）ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（参観授業で「まなぼうさい教室」開催ほか）、防災クイズ
8. 9	トピックス・地域情報（木造住宅の耐震診断（鳴門市他）ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（夏休み!こども防災まつりほか）、防災クイズ
8. 13	トピックス・地域情報（防災拠点等となる県有施設の耐震性能ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（海部郡中学校福祉・ボランティアスクールほか）、防災クイズ
8. 27	トピックス・地域情報（少年少女消防教室開催ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（由岐町キッズフェスティバルほか）、防災クイズ
9. 10	トピックス・地域情報（防災教育推進フォーラム開催ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（やっってます!「まなぼうさい教室」ほか）、防災クイズ
9. 27	トピックス・地域情報（「佐野防災8」が国土交通大臣表彰受賞ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（防災教育推進フォーラム開催ほか）、防災クイズ
10. 8	トピックス・地域情報（モデルハウスで地震対策を学ぶほか）、 各種行事イベント等案内・報告（和田島小で「まなぼうさい教室」開催ほか）、防災クイズ
10. 22	トピックス・地域情報（防災教育推進フォーラム開催報告ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（とくしま防災フェスタ2010ほか）、防災クイズ
11. 12	トピックス・地域情報（とくしま防災フェスタ2010開催報告ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（地震・津波防災標語コンクール入賞作品紹介ほか）、防災クイズ
11. 26	トピックス・地域情報（知っておきたい防災講座開催ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（徳島県自主防災組織交流大会開催報告ほか）、防災クイズ
12. 10	トピックス・地域情報（地域少年少女消防教室（阿南市）開催ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（昭和南海地震関係ほか）、防災クイズ
12. 24	トピックス・地域情報（自主防災組織活動事例報告ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（災害時高齢者生活支援講習ほか）、防災クイズ
H23 1. 14	トピックス・地域情報（企業等による防災用品企画展ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（阪神淡路大震災関係ほか）、防災クイズ
1. 28	トピックス・地域情報（消防団出初式・防災講演会（三好市）ほか）、 各種行事イベント等案内・報告（徳島県防災教育推進大会開催ほか）、防災クイズ
2. 11	トピックス・地域情報（鳥インフルエンザ関係ほか）、 各種行事・イベント等案内（知っておきたい防災講座開催ほか）、防災クイズ
2. 25	トピックス・地域情報（木造住宅耐震化に向けた県内の取組状況ほか）、 各種行事・イベント等案内（徳島県防災教育推進大会等開催報告ほか）、防災クイズ

④ 「小中学校まなぼうさい教室」の開催

県立防災センター職員等が依頼のあった小中学校に出向いて行う防災教育（出前授業）を実施しています。

■ 「小中学校まなぼうさい教室」の実施

実施回数：40回（小学校30回、中学校9回、特別支援学校1回）



徳島市内の小学校において、児童と保護者を対象に、「地震から命を守る」をテーマに防災授業を行っている様子



小松島市内の小学校において、「非常持ち出し品」をテーマに防災授業を行っている様子



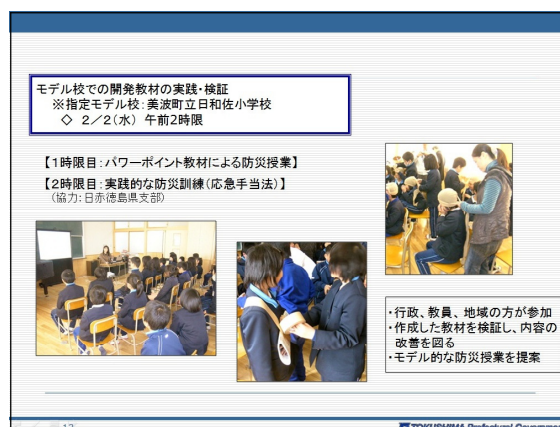
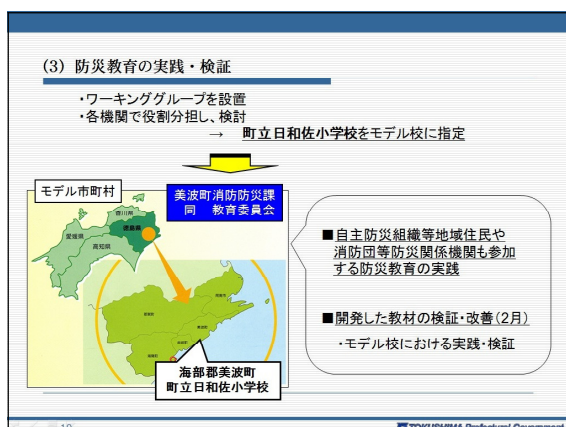
※ まなぼうさい教室の詳細は、「参考資料」26ページを参照。

⑤ 地域住民への防災教育の啓発等

県下全域において、徳島県が実施している地域住民を対象とした「寄り合い防災講座」等の機会を捉え、「小中学校まなぼうさい教室支援事業」の取組を報告し、普及啓発を行っています。



3 実践的な防災教育プログラムの開発・実施



(1) 当該年度における成果の目標及び業務の方法

徳島県南部に位置し、津波避難困難地区を多く抱え南海地震への対応が急務となっている海部郡美波町をモデル地区とし、当事業で開発・作成した教材を用いた防災教育プログラムを実践・検証し、さらに教材の改善につなげます。

平成21年度は、自主防災組織等地域住民も一体となった実践的な防災教育の取り組みについて、関係者間でWG（ワーキンググループ）を設置し、検討、実践を行いました。平成22年度においても、小学生高学年をターゲットに、防災教育プログラムの実践・検証を行います。

さらに、当該防災教育支援事業並びにこれまでの防災教育の成果をもとに、教員が防災教育に取り組む際の手引き書となる実践的な防災教育プログラム集を作成し、県内各学校に配布します。

- ・作成した教材を使用した防災授業
- ・学校（児童生徒）と地域が一体となった防災訓練の実施
- ・運動会での防災競技の実施

(2) 成果

① 学校と地域が一体となった防災教育の取り組みの実施

■平成22年8月12日（木）：美波町由岐公民館 キッズフェスティバル

■防災学習 「地震で自由研究～家具でつぶされないために～」

■美波町内の小学生約30名が参加

知識を得る講義に加えて、防災教育推進委員が作成した実験装置を使って、目で見、手で触って学ぶ体験学習を実施

（家具転倒実験ハウス、粘着シート実験など）



② 作成した教材を使用した防災授業及び学校と地域が一体となった防災訓練の実施等

■平成23年2月2日（水）

- ・ 3時限目：開発教材（パワーポイント）による防災授業
- ・ 4時限目：実践的な防災訓練（応急手当法）
- ・ アンケートの実施

■指定モデル校：美波町立日和佐小学校（4年生33名）

<アンケート結果から>

○防災授業について

開発教材については、わかりやすい、内容もちょうどよいという回答が多くありましたが、パワーポイントでの授業では、対話を取り入れるなど、実際に考えてもらう機会を増やすとよいのでは、という意見もたくさんいただきました。

子どもたちにより理解を深めてもらうには、教育の専門家である先生方との打ち合わせや、協力して授業に取り組むことが効果的だと感じました。

○実践的な防災訓練（応急手当法）について

地域の方にも参加していただいた防災訓練（応急手当法）は、非常に好評でした。新聞紙やストッキングを用いた応急手当法のほかに、ケガ人の精神的安静を保つための心の手当についても学んだことから、子どもたちのアンケートには、「心が安心した」「人のためになるから覚えておきたい」といったコメントも見られました。



【防災授業の様子】

教材を検証するため、行政、教員、地域の方が参加



【防災訓練（応急手当法）の様子】

新聞紙やガムテープを用いた固定法、ストッキングを使った包帯法に取り組んでいる

■運動会での防災競技の実施

- 県南部地域の浅川小学校で実施した防災種目を取り入れた運動会なども参考としながら、防災教育プログラム集の検討・取りまとめを行いました。

※ 日和佐小学校でのアンケート結果は、「参考資料」32ページ参照。

※ 応急手当法の参考資料は、「参考資料」36ページ参照。

③ 防災教育プログラム集の作成・配付

防災教育支援事業の成果並びにこれまでの防災教育推進モデル校での取り組みの成果をもとに、教員が防災教育に取り組む際の手引き書となる実践的な防災教育プログラム集「地域とつなぐ防災教育」を作成しました。

さらに、今後、学校における総合的な学習の時間等の活動の中で、地域連携の取り組みを進め、児童生徒の防災対応能力の向上を図るため、県内各学校に配付し、活用を促しました。

4 その他、地域の実情に応じた先進的な取組の実施

(1) 当該年度における成果の目標及び業務の方法

平成21年度に引き続き、徳島県立防災センターが主体となって、徳島県ならではの先進的な取組を実施し、これらの活動を県立防災センターや県ホームページ等で広く紹介することにより、防災活動のさらなる活性化を図ります。

- 学校現場に対する「徳島県立防災センター」の積極的活用の働きかけ
全国的にも数が少ない体験型防災啓発施設である「徳島県立防災センター」を学校の課外活動、研修等に積極的に活用してもらうとともに、要望に応じて防災講座も開催するなど、学校関係者（児童生徒や教員）、防災関係者、自主防災組織等地域住民等の学習・交流の場とするため、平成21年度は、徳島県総合教育センターで行われる研修会に出向くなど、あらゆる機会に啓発を行いました。
平成22年度は、総合的な学習の時間におけるカリキュラム化の中において、同センターの活用を図ります。
- 「徳島県まなぼうさい大賞」県知事表彰の実施
各小中学校の特筆すべき防災活動を顕彰するため、平成21年度において「徳島県まなぼうさい大賞」県知事表彰を行い、その活動内容を広く県ホームページ等で紹介することにより、防災教育の普及を図りました。平成22年度においても引き続き実施していきます。
- 「とくしま防災フェスタ」への出展
「とくしま地震防災県民会議」が主催し、県立防災センターを会場に、防災関係機関だけでなく、企業等も参加する入場者約3,500人規模の「とくしま防災フェスタ」において、平成21年度は防災教育推進委員会として防災教育啓発ブースを出展しました。
平成22年度も同様に防災教育啓発ブースを出展し、「徳島県まなぼうさい大賞」表彰校の取組を紹介します。

- 「とくしま地震防災県民会議」公募事業の共催
平成21年度は徳島県内の全小中学生を対象とした「地震津波防災ポスターコンクール」公募事業を「とくしま地震防災県民会議」と共催で実施しました。平成22年度も引き続き徳島県内の全小中学生を対象とした公募事業を実施し、県民会議等防災関係団体が実施する啓発事業との連携を図り、防災教育の重要性についての啓発を行います。

(2) 成果

① 学校現場に対する「徳島県立防災センター」の積極的活用の働きかけ

全国的にも数が少ない体験型防災啓発施設である「徳島県立防災センター」を学校の課外活動、研修等に積極的に活用してもらうとともに、要望に応じて防災講座等も開催するなど、学校関係者（児童生徒や教員）、防災関係者、自主防災組織等地域住民等の学習・交流の場とするため、機会を捉えて啓発を行い、学校関係者の積極的活用が図られました。



※ 県立防災センターを活用したカリキュラム（例）は、「参考資料」39ページ参照。

② 「徳島県まなぼうさい活動賞」県知事表彰の実施

各小中学校の特筆すべき防災活動を顕彰するため、「徳島県まなぼうさい活動賞」県知事表彰を行い、その活動内容を広く県ホームページ等で紹介することにより、防災教育の普及を図りました。

○表彰式：「徳島県防災教育推進大会」（平成23年2月7日）において表彰



○平成22年度「徳島県まなぼうさい活動賞」 受賞校

【小学校 4校】

推薦者	鳴門市
学校名	鳴門市里浦小学校
校長名	上田 優
生徒数	174人
学校所在地	鳴門市里浦町里浦字西浜401番地
主な活動内容	地域と連携した防災訓練等を実施し、この活動が8年間継続している。また、防災学習参観日、近くの海岸堤防の現地見学(清掃集会を兼ねて)、「命を守ろう集会」など地域と一体となった活動を行っている。

推薦者	小松島市
学校名	小松島市和田島小学校
校長名	米本 英男
生徒数	304人
学校所在地	小松島市和田島町字山のはな8
主な活動内容	運動会に防災種目を追加、生徒児童への地震・津波に対する意識調査、「南海地震体験者の話を聞く会」などを行い防災意識の向上が図られている。地域と連携した防災訓練なども実施している。

推薦者	三好市
学校名	三好市立佐野小学校
校長名	平田 正文
生徒数	17人
学校所在地	三好市立池田町佐野金氏942番地
主な活動内容	地域の危険箇所等の現地調査をもとにした防災マップや土砂災害の前兆現象をまとめたパンフレットを作成し、地域の自主防災活動に参加してその成果を発表したり、高齢者に配布するなど、地域と密着した活動が3年間継続している。

推薦者	牟岐町
学校名	牟岐町立河内小学校
校長名	熊野 敏彦
生徒数	28人
学校所在地	海部郡牟岐町大字河内字西川又290番地
主な活動内容	平成20年度に防災教育推進モデル校であったが、引き続き平成22年度においても年間を通じた防災活動の取り組みが行われている。また、防災避難所体験訓練を通じて地域との連携や災害ボランティアを体験し、防災意識の向上を図っている。

【中学校 2校】

推薦者	徳島市
学校名	徳島市津田中学校
校長名	佐藤 利弘
生徒数	366人
学校所在地	徳島市津田西町2丁目2-14
主な活動内容	防災教育を年間指導計画に位置付けており、この活動は6年になる。町内の防災意識調査とその発表、隣接する幼稚園や小学校への防災出前授業、非常食（ジャム）作りと配布を行うなど、地域と連携した防災活動について、非常に熱心な取り組みが継続している。

推薦者	阿波市
学校名	阿波市立土成中学校
校長名	稲井 政人
生徒数	212人
学校所在地	阿波市土成町吉田字一本松の二42番地
主な活動内容	土成中学校少年少女消防隊として、地元消防団と連携した総合防災訓練等を通して、生徒の防火防災意識を高め、将来の地域防災に役立つ人材育成を行っている。

③ 「とくしま防災フェスタ」への出展

平成22年10月31日（日）県立防災センターにおいて開催した「とくしま防災フェスタ2010」（来場者約2,800人）は、南海地震に県民総ぐるみで備えるために、子どもから大人までが防災について楽しく学べる、防災に関する情報満載のイベントです。

この「とくしま防災フェスタ2010」において、防災教育について広く県民の方々に関心を持ってもらうため、防災教育推進委員会として防災教育啓発ブースを出展し、防災教育の啓発を行うとともに「平成21年度徳島県まなぼうさい大賞」受賞校の取り組みを紹介しました。

（出展内容）

- 「地震・津波防災標語コンクール」入賞作品の展示
- 防災教育教材の展示及び内容の解説
- 「平成21年度徳島県まなぼうさい大賞」受賞校の取り組みの紹介

< オープニング >



< 子ども防災まつり >



< 防災教育啓発ブース >



< 地震・津波防災標語コンクール表彰式 >



④ 「とくしま地震防災県民会議」公募事業の共催

「とくしま地震防災県民会議」との共催により、県内の全小中学生を対象とした地震・津波防災標語コンクールの公募を行いました。

- 応募作品（小学生の部926点、中学生の部409点）の中から、小学校、中学校に分けて入賞作品を選考し、表彰。

地震・津波防災標語コンクール入賞作品

小学生の部

最優秀賞	優秀賞	優秀賞	入選	入選	入選	入選
<p>体験を聞いて いかにして 守る</p>	<p>にいちやんと いつしよにおぼ えしたよ</p>	<p>ひなばしよ かぞくいでか くにまもる</p>	<p>近づくのあ いとの海や 川</p>	<p>地日ごろの たいさく 心のゆとり</p>	<p>防災を学んで 減少のひが い</p>	<p>大じょうぶ？ ぼうさいぶ？ 心のじゅん び</p>
石井町 浦庄小学校 5年 やまむらりの 山村 理乃	徳島市 助任小学校 1年 なかの 中野 智至	美波町 木岐小学校 2年 べっく 別宮 瑠伊斗	鳴門市 撫養小学校 6年 しま 島 由花	鳴門市 堀江南小学校 4年 ふじと 藤本 実玖	阿南市 吉井小学校 5年 きたがき けんたろう 北垣 憲太郎	石井町 浦庄小学校 3年 たけいち はやと 武市 隼

中学生の部

最優秀賞	優秀賞	優秀賞	入選	入選	入選
<p>日ごろから 心の 防災意識</p>	<p>阿波っ子の 愛するこの街 守るんじよ!!</p>	<p>大地震 命を助ける 近所の輪</p>	<p>地域のきずな 日ごろの備えで 守ろう命</p>	<p>訓練も いざという時の 常備品</p>	<p>いつ起こる？ 予想は無理？ 準備なら</p>
徳島市 南部中学校 1年 やまあかな おや 山岡 直哉	小松島市 立江中学校 2年 いけふぢ ひなの 池淵 妃奈乃	三好市 井川中学校 2年 なかがわ ゆうと 中川 湧登	徳島市 川内中学校 3年 みよし りんじ 三好 健司	北島町 北島中学校 3年 まさしま ひろき 巻島 大輝	徳島市 津田中学校 2年 つつい ともや 筒井 智也

⑤ 「徳島県防災教育推進大会」の開催

■日 時

平成23年2月7日（月） 午後1時30分から午後4時20分まで

■場 所

県立総合教育センター 1F ホール



■プログラム

- (1)「徳島県まなぼうさい活動賞」表彰式
- (2)「徳島県まなぼうさい活動賞」受賞校実践発表
- (3)「小中学校まなぼうさい教室支援事業」活動報告
- (4)講義「地域と連携した防災教育の進め方」
- (5)講演「防災教育の技術紹介」

■参加者 約370名

学校教育関係者、市町村関係者、自主防災組織、その他防災関係機関等

V まとめ

防災教育支援事業の事業報告書を作成している最中、3月11日東北地方太平洋沖地震が発生しました。地震の規模はマグニチュード9.0（暫定値）と極めて大きく、宮城県栗原市で震度7が観測されたほか、広範囲にわたる津波が発生しています。

特に、地震発生後に沿岸地域を襲った津波の映像や被害の大きさは、想像を絶するものでその衝撃を忘れることはないでしょう。

地震については、今後、大学等の研究機関において分析が行われるものと思いますが、被害の全容を明らかにするためには長い期間を要するものと思われます。

現在、自衛隊や消防などが救援活動に取り組みられておられますが、少しでもたくさんの方が救助されることを願っています。

「南海地震」も今後30年以内の発生確率60%程度との予測がされています。

「南海地震」がいつ起こってもおかしくない状況の中、日頃から「南海地震」についての関心や理解を深め、地震に備えることの大切さについて学ぶことにより、被災時には、児童・生徒が自らの的確な判断の下で防災行動をとることができるよう、「防災教育」を積極的に推進していくことが非常に重要であることを再認識しました。

徳島県においては、文部科学省からの委託により、平成21年度からの2カ年をかけ、「小中学校まなぼうさい教室支援事業」を実施し、学校や防災関係機関のほか、自主防災組織等地域住民も一体となった防災教育の取組ができる推進体制の構築を図ってきました。

支援事業では、「防災科学技術教育関連教材等の作成」、「学校の教員等を対象とした研修カリキュラムの開発・実施」、「実践的な防災教育プログラムの開発・実施」、さらには、徳島県ならではの取り組みを行ってきましたが、今後、これらの取り組みをより充実させ、また、継続させていくことが課題となります。

来年度以降についても、市町村や教育委員会等と連携しながら、県を挙げて防災教育・防災対策により積極的に取り組んでいきたいと考えています。

参 考 资 料

県内に残る地震・津波碑（3）

蛭子神社「百度石」



所在地 徳島市南沖洲1-2 蛭子神社境内

建 立 文久元年(1861) 9月

移 転 平成15年(2003)3月3日



安政南海地震(1854.12.24)の様子が刻まれています。

砂岩の劣化が激しく、すでに4面のうち2面が剥落していますが、南海地震はおよそ100年周期で繰り返し起きていること、津波の際には絶対に船に乗ってはいけないこと、冷静になって火を消すことなどの教訓を読み取ることができます。

募集
しています!

『防災教育推進パートナー』

登録・支援事業

※裏面が登録用紙になっています。

防災教育って? 時間がない!
教材は? 何をすればいい?
進め方は?



南海地震の発生確率

- ・今後30年以内に60%程度
- ・予測震度は5強～6強
- ・強い揺れが2～3分程度続く

!!熱意・関心のある先生方をサポートいたします!!

- ①パートナーを対象とした研修等スキルの向上
- ②啓発用資料の提供
- ③防災センター等が実施する防災イベントの情報提供
- ④パートナーに対する防災に関する定期的な情報発信

問い合わせ先

徳島県立防災センター (徳島県危機管理部南海地震防災課防災センター・啓発担当)

〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165 TEL: 088-683-2100 FAX: 088-683-2002

e-mail: bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp

『防災教育推進パートナー』

登録用紙

☆ 防災教育推進パートナーに登録いただいた先生方に、定期的に「パートナー通信」を配信します。

この「パートナー通信」は、防災教育の推進のみならず、南海地震等大規模災害発生時において、ご自身とご家族の生命・財産を守るために必要な情報を発していくものです。

ふりがな

役職・氏名

学校名

TEL

〒

所在地

〒

自宅住所

電話番号

「パートナー通信」送信先メールアドレス

※携帯電話への配信はできません。

ご自宅または勤務先等のパソコンのメールアドレスをご記入ください。

※御記入いただいた個人情報は、当事業の目的以外には使用しません。

※申込先（FAXまたは郵送でお申し込みください）

徳島県立防災センター（徳島県危機管理部南海地震防災課防災センター・啓発担当）

〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165 TEL: 088-683-2100 FAX: 088-683-2002

e-mail: bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp

防災教育支援 ホットライン

(相談窓口)



防災すだちくん

☎ 088-683-2100

★ 県立防災センターでは、防災教育に関する相談を随時受け付けています。
お気軽にご相談ください。

- 南海地震をテーマにした授業をしたいんだけど・・・？
- 課外授業に行きたいなあ。
- 地域の人達にも協力を求めたい！
- どんな備えが必要なの？



- 学校へ出向き、分かりやすい防災講座を行います。
- 各種防災情報、啓発資料等を提供します。
- 防災センターでは地震、煙、消火などの疑似体験で楽しく学ぶことができます。
- 地域や市町村との橋渡しをします。

徳島県立防災センター

(徳島県危機管理部南海地震防災課防災センター・啓発担当)

〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165
TEL:088-683-2100 FAX:088-683-2002
e-mail:bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp

県内に残る地震・津波碑（4）

東由岐「康暦碑」



所在地 海部郡美波町東由岐大池イヤ谷

建 立 康暦2年(1380)11月

正平16年6月24日(1361.8.3)に発生した南海地震津波の供養碑「康暦碑」(こうりやくひ)。

太平記にも「阿波の雪(由岐)の湊を襲った津波」として記されており、20年後の康暦2年(1380)に建立されています。

わが国最古の津波の供養碑といわれています。

小中学校まなぼうさい教室

徳島県では、切迫性が高まる南海地震の発生に備えるため、地震防災の正しい知識や自分や家庭でできる防災対策について、小中学生を対象とした分かりやすい防災講座、「小中学校まなぼうさい教室」を、学校や地域に職員が出向いて開催します。

1 講座の内容

- ・ 地震が起きるとどうなる？ どうする？
 - ・ 南海地震とは
 - ・ 家庭でできること
 - ・ 地域でできること
- 等、概ね1時限の授業(45分)程度
※内容の詳細は、担当者と協議してください。



まなぼうさいキャラクター
(協力:徳島新聞社)

2 対象

県内の小中学校や地域が主催する小中学生向けの防災講座・訓練等

3 申込み方法

徳島県立防災センターまたは最寄りの県総合県民局に、裏面の申込書により、開催の2週間前までにご連絡ください。

4 費用

職員の派遣費用は無料です。

5 その他

徳島県立防災センターで、「小中学校まなぼうさい教室」を開催することもできますので、**お気軽に当センターをご活用ください。**

(問い合わせ先)

徳島県立防災センター

電話:088-683-2100 FAX:088-683-2002

E-Mail:bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp

南部総合県民局企画振興部危機管理担当

電話:0884-74-7273 FAX:0884-77-3851

E-Mail:nanbu_k_m@pref.tokushima.lg.jp

西部総合県民局企画振興部危機管理担当

電話:0883-53-2392 FAX:0883-53-2434

E-Mail:seibu_k_mm@pref.tokushima.lg.jp

申込書等は[こちらから](http://anshin.pref.tokushima.jp/)…安心とくしまポータルサイト:<http://anshin.pref.tokushima.jp/>

整理番号 _____

「小中学校まなぼうさい教室」申込書

日 時	平成 年 月 日() : ~ :
会 場	
参加者数	約 名
内 訳	年生 人、 年生 人 …

※発送過程に応じて内容に違いがありますので、対象の学年・人数を記入してください。

申 込 者

学校、地域団体等名			
申込者氏名			
住 所			
電 話 (携 帯)		F A X	
会場設備	以下の設備が準備できる場合は□欄にチェックを入れてください。 (設備がない場合は、こちらで準備いたします) <input type="checkbox"/> パソコン(パワーポイントが必要) <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> スクリーン		
そ の 他 特 記 事 項			

校内防災チェックシート

大きな地震が起きたときには安全な場所で身を守らなければなりません。
校内の危ないところ、安全なところを知っておきましょう。



こわれた廊下の柱

場所（教室名）：

危ないところを見つけよう

- 落ちてきそうなもの（高いところに設置してあるもの、窓、鏡、蛍光灯など）



おちたテレビ

- 倒れそうなもの（固定されていないロッカー・本棚・下駄箱など）



たおれた本だな

安全なところを見つけよう

- 落ちてくるもの倒れるものがない広いところや身を守る机などがあるところ



ガラスが散乱した踊り場

身の守り方を考えよう

- 先生がいないときにこの場所で地震が起きたらどう行動すればよいのでしょうか。
友達や先生と話し合って決めておきましょう。



ぶら下がった蛍光灯

* シート内の写真は、とっとりけんせいぶじしん あいみしょうがっこう
鳥取県西部地震での南部町立会見小学校（震度6弱）の被害です。

地震防災家族会議シート

大きな地震がおきると、津波・がけ崩れ・火災・家屋倒壊（家が壊れること）などで、家にいらなくなるかもしれません。

子どもだけの留守番中や、家族と離れて外出しているときに地震が起きることもあります。家族と会えるまでの間、どこで待っていればよいか、どう行動すればよいかを普段から話し合っておきましょう。

- 家が壊れたり、火事・津波・がけ崩れなどで自宅にいられない場合の家族の待ち合わせ場所

--

*保護者の方へ：子どもは不安になると親を捜そうとします。交通の麻痺などから迎えに行くまでに時間がかかることを説明し、移動せずに待っていることを約束しておきましょう。

- 待ち合わせ場所へ行くまでの道

*できるだけ広い道を選びましょう。道路を通れなくなることもあるので、複数の道を考えておきましょう。

ひなんろ 避難路1	
ひなんろ 避難路2	

- 家族が離れているときの連絡方法（固定電話や携帯電話は使えなくなるかもしれません）

れんらくほうほう 連絡方法1	
れんらくほうほう 連絡方法2	

- 塾や習い事のとくに大きな地震が起きたら

ぼく(わたし)はこうします	
かぞく 家族はこうします	

- 子どもだけで遊びに出かけているときに大きな地震が起きたら

ぼく(わたし)はこうします	
---------------	--

- 津波浸水域に住んでいる人は、お家の人がいなくても一人で避難することを約束しておいてください。

まち歩きチェックシート 1

大きな地震が発生すると、いつも通っている道を通れなくなることがあります。
まちをチェックして、危ないところと安全なところを知り、地震のときには安全なところで身を守りましょう。

● 危ないところ たくさん見つけてみよう。

- ・ 崩れそうなブロック塀
- ・ 落ちてきそうな看板
- ・ 家や塀に挟まれた狭い道
- ・ 行き止まり
- ・ 電信柱や信号機
- ・ ガケのそば
- ・
- ・
- ・
- ・ 固定されていない自動販売機
- ・ ガスボンベ
- ・ 海の近くの水路
- ・ 高いところにものを置いてあるところ
- ・ 古い建物
- ・ 耐震化していない古い橋
- ・
- ・
- ・

● 広くて安全なところ たくさん見つけてみよう。

- ・ 神社やお寺
- ・ 一時避難場所
- ・ 駐車場
- ・ 学校
- ・ 津波避難場所・タワー
- ・
- ・
- ・
- ・ 公園
- ・ 畑
- ・ 避難所
- ・ 空き地
- ・
- ・
- ・

● 地震が起きたときに危ないところのそばにいたら、どうすればよいか考えてみよう。

まち歩きチェックシート 2

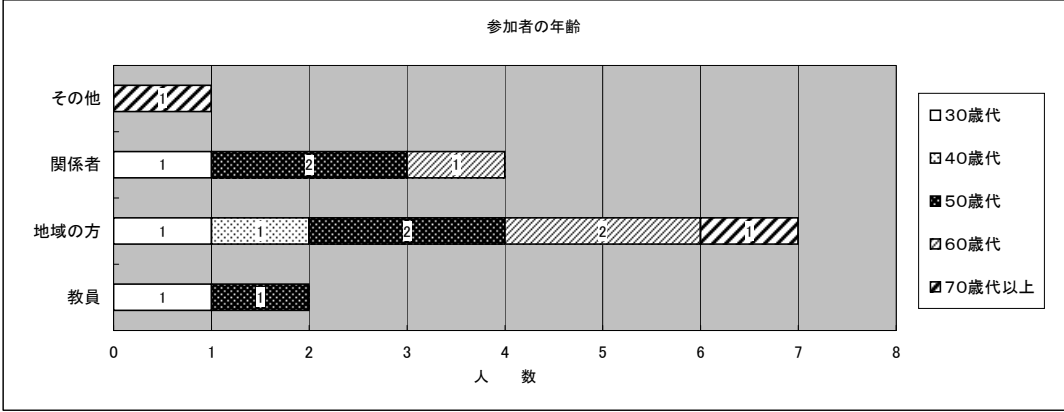
チェックシート1を見ながらまちを歩いて、危ないところと安全なところを見つけてみよう。
□の中には、出発地・目印になる建物など・到着地を書きましょう。
線の左側には、危ないところを、右側には安全なところを道順にそって書きましょう。

危ないところ

安全なところ

「小中学校まなぼうさい教室」アンケート結果

開発した教材の実践・検証を行うため、行政関係者、教員、地域の方など約30人に参加をいただき、15名の方からアンケートの回答をいただきました。



1. 防災授業について

(1)教材の内容について(視覚的観点から)	大変わかりやすい	わかりやすい	普通	わかりにくい	回答者のうち無回答
	8	6	1	0	0

具体的な提案やアイデア、改善点など	もう少しマンガ的にした方がよいと思う。				
	実際に物を利用したらよい。				
	津波の速さの問題で少々不安が残った。				
	画面がもっと大きかったら良かった。				
	スクリーンをもっと大きく。教室の後ろまでは見えにくい。				

(2)授業の内容について(伝えるべき内容・レベルなど)	難しい	少し難しい	ちょうどよい	やさしすぎる	回答者のうち無回答
	0	1	14	0	0

具体的な提案やアイデア、改善点など	簡単なクイズを入れて考えさせるのも良いと思う。				
	子どもたちとの対話を増やした方がよい。				
	遠足などで現地へ行って、津波が来たらどう行動するのかなどグループで体験するのも良いと思う。				
	子どもの反応を見て、対話を増やし発表してもらったりすると良いと思う。				
	大人も一緒に受けることは大変よかったと思う。				

(3)子供の視点からどう思うか	大変わかりやすい	わかりやすい	普通	わかりにくい	回答者のうち無回答
	6	8	1	0	0

(4)この教材を使用して授業をしてみたいか	ぜひやってみたい	やってみたい	どちらでもない	やりたくない	回答者のうち無回答
	2	10	2	0	1

(1)映像教材の内容について(視覚的観点から)	大変わかりやすい	わかりやすい	普通	わかりにくい	回答者のうち無回答
	6	6	1	0	1
具体的な提案やアイデア、改善点など	写真が少し悪い。				
	声をもう少し工夫したらもっとわかりやすくなると思う。				

(2)構成時間について	大変わかりやすい	わかりやすい	普通	わかりにくい	回答者のうち無回答
	6	6	1	0	1

(3)授業の内容について(伝えるべき内容・レベルなど)	難しい	少し難しい	ちょうどよい	やさしすぎる	回答者のうち無回答
	0	0	13	0	1

(4)子供の視点からどう思うか	大変わかりやすい	わかりやすい	普通	わかりにくい	回答者のうち無回答
	2	10	1	0	1

(5)この教材を使用して授業をしてみたいか	ぜひやってみたい	やってみたい	どちらでもない	やりたくない	回答者のうち無回答
	3	8	2	0	1

2. 応急手当の実践について

(1)応急手当の実践の内容はどうでしたか	大変よかった	よかった	どちらでもない	よくなかった	回答者のうち無回答
	10	1	1	0	3
具体的な提案やアイデア、改善点など	話し方、興味の持たせ方、子どもによる活動など全てすばらしい授業だと思う。				
	言葉が少し難しいのではないと思った。				
	鼻血は頭を上げて首などを冷やしていたけれど間違いだとわかってよかった。				
	止血、傷病者など言葉が少し難しかったかも。小学生がわかる言葉がいいのではないか。				
	子どもと大人が一緒になるのは良かった。				

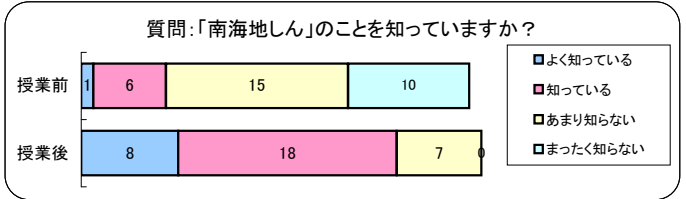
(2)子供の視点からどう思うか	大変楽しい	楽しい	どちらでもない	楽しくない	回答者のうち無回答
	7	5	0	0	3

(3)この取り組みを一緒にしてみたいか	ぜひやってみたい	やってみたい	どちらでもない	やりたくない	回答者のうち無回答
	5	6	1	0	3

日和佐小学校 4年生児童 アンケート結果

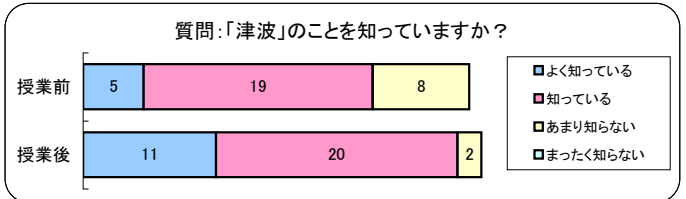
○「南海地しん」のことを知っていますか？

	よく知っている	知っている	あまり知らない	まったく知らない
授業前	1	6	15	10
授業後	8	18	7	0



○「津波(つなみ)」のことを知っていますか？

	よく知っている	知っている	あまり知らない	まったく知らない
授業前	5	19	8	0
授業後	11	20	2	0



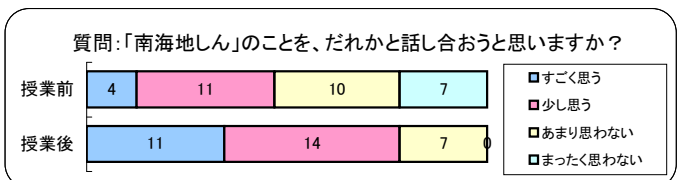
○「南海地しん」などの「災害(さいがい)」というと、なにを(どんなことを)思いかべますか？

授業実施前	
大津波・津波	7
建物がたおれる	5
町がのみこまれる・くずれる	4
火事	2
地割れ	2
たくさんの人が亡くなる	2
こわい・危険	2
戦争みたいに家がなくなる	2
阪神淡路大震災	1
家具がたおれる	1
水が止まったりする	1
南の海で地しんがおきる	1
そんなに大きな被害ではない	1
たくさんの人があせって逃げる	1

授業実施後	
地しん・はんしんあわじたいしんさいみたいな大きな地しん	9
地しんのあとにすぐ津波がくる	7
こわい	5
ビルがたおれたり建物がこわれる	2
用意している物を持ってすぐ逃げる・逃げる準備が必要	2
たくさんの人が亡くなる	2
地割れ・道路がこわれる	2
物がたおれて人がしたじきになる	1
町をこわして人をおそう	1
津波で人がさらわれる	1
火事	1
あたまをまもる	1
電気や水がこなくなったりする	1
建物がくずれて物がいっぱい流れてくる	1
戦争みたい	1

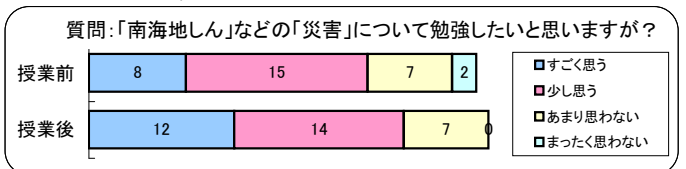
○「南海地しん」のことを、だれかと話し合おうと思いますか？

	すごく思う	少し思う	あまり思わない	まったく思わない
授業前	4	11	10	7
授業後	11	14	7	0



○「南海地しん」などの「災害(さいがい)」について勉強したいと思いますか？

	すごく思う	少し思う	あまり思わない	まったく思わない
授業前	8	15	7	2
授業後	12	14	7	0



○「南海地しん」などの「災害(さいがい)」にそなえて、自分には何ができると思いますか？

授業実施前		授業実施後	
食べ物、飲み物などのひなんリュックを用意しておく	8	食べ物、飲み物などのひなんリュックを用意しておく	15
逃げる(遠いところ、高いところ)	7	家族と話し合う(避難場所・集合場所・持ち出し品など)	8
家族と話し合う(避難場所・集合場所・持ち出し品など)	5	身を守る行動・きびきび行動できるようにする	3
いざという時すぐ逃げられる準備をする	3	逃げる・高いところに逃げる	2
放送をきちんと聞く	1	家を丈夫にする	1
机の下にかくれる	1	逃げる道を2つ以上決めておく	1
早寝早起き、頭元にリュックをおく	1	いざという時すぐ逃げられる準備をする	1
災害にそなえる	1	棚などが倒れてこないようにする	1
家にかくれる	1	地しんや津波に気をつける	1
火遊びをしない	1	救急箱を作る	1
ゴミを捨てない	1		

○今日の授業(じゅぎょう)で「南海地しん」のことがわかりましたか？

よくわかった	少しわかった	どちらでもない	わからない
28	5	0	0

○今日の授業(じゅぎょう)で出てきた「絵」や「写真」はどうでしたか？

よくわかった	少しわかった	どちらでもない	わからない
28	5	0	0

※そのわけをかいってください。(記入数30)

よくわかった理由	絵や写真がわかりやすい。かわいい。おもしろい。物語みたい。	13(43%)
	リアルだった。地しんのこわさや様子がよくわかった。	5(17%)
	いろんなキャラクターがいてかわいかった。	3(10%)
	キャラクターを使ったらむずかしいこともわかりやすい。	2(7%)
	絵が少しこわかったけどよくわかった。	1(3%)
少しわかった理由	色がついていたから。	1(3%)
	絵がすごかった。すごい迫力だった	2(7%)
	おもしろかった	1(3%)
	絵がちよっとのちよっと ちよっとこわかった	1(3%)

○「応急手当」はどうでしたか？

またやりたい	どちらでもない	やりたくない
25	7	1

※そのわけをかいってください。

またやりたい理由	人のためになるから。もしもの時に役に立つから。	9(28%)
	おもしろく学べたし普段使っている物でもできると分かったから。	7(22%)
	楽しくできて心が安心したから。覚えていたら便利だと思うから。	5(15%)
	楽しかったから。	4(13%)
どちらでもない理由	少し恥ずかしいから	4(13%)
	楽しかったから。	1(3%)
	ケガとかする人はいないと思うから	1(3%)
	物がギブスになったりするから	1(3%)

人が倒れていたたら!!

1

安全の確保

倒れているその場所は安全？
危険な場所なら移動しよう

2

出血の確認

大量出血なら命の危険
すぐに止血が必要

3

意識があるかを確認

肩を優しくたたきながら、耳もとで呼びかけてみる(3回くらい)
小さな声で → 少し大きな声で → 大きな声で

4

まわりの人に協力を求める

【救急車を呼ぶ】【AEDを手配】

意識がなければ、大きな声でまわりに協力を求め、
救急車を呼んだり、AEDを持ってきてもらう

5

気道の確保 呼吸の確認

気道(空気の通り道)の確保
意識はないが普段どおりの呼吸をしていれば横向き
(回復体位)にする
普段どおりの呼吸ができていなければ、心臓マッサージ
(胸骨圧迫)が必要(可能であれば人工呼吸も)

※2005年の国際的基準に準拠した「日本版救急蘇生ガイドライン」による

ケガをしたり、災害にあつたりすると!!

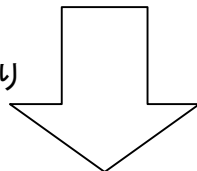


心が、不安や恐怖に襲われたりする

ケガ人には、**身体的安静** 身体のケガの手当
精神的安静 心のケガの手当
が必要

例えば、

側にいてくれると落ち着いたり
優しくさすってくれると楽になったり
病院に行くと少し楽になったり

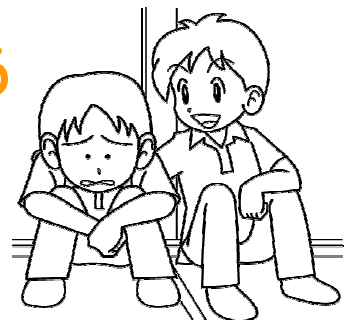


身体「ケガ」の手当とともに、
「心」を安心させてあげよう

心が安心して、ケガをしている人の気持ち楽になる

☆「心の手当」

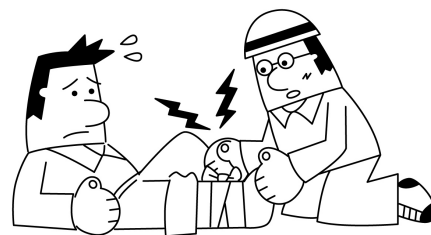
- * からだに手を当てて、お話を聞いてあげる
- * 温かい手のぬくもりで心が安心する
- * やさしく声がけをしてあげたり、側にいてあげる



応急手当(包帯法)

包帯の役割 ネット包帯、三角巾、伸縮包帯など

- * 傷口の保護ガーゼを固定
- * 傷口の感染防止
- * 出血を止める
- * 骨折やねんざした部分を動かさないように固定する



ストッキングで包帯

包帯の代わりにストッキングで包帯

- * 腰の部分は頭に、足の部分だけを切り取ると、腕や脚の包帯代わりになる

気をつけよう

傷口に清潔なガーゼや布をあて、その上から包帯する
傷口は清潔に保つ
血には直接触れないように、手袋やビニールを使う

腕や足、肩の
包帯代わり

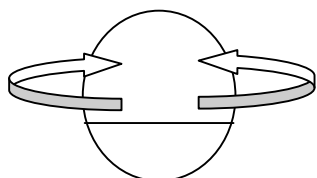


【頭にケガをしたとき】

- ・ストッキングの腰の部分に手を入れて、左右に広げる
- ・ケガ人の前に立ち、頭の後ろからかぶせる



- ・頭の後ろで足の部分を交差させ、左右に巻き付ける



- ・1回半巻き付けて、頭の前で結ぶ
- ・結び目を上に巻き上げて形を整える



固定法

新聞紙で固定

副子(ふくし)の代わりに新聞紙で固定

* そえぎのこと

* 骨折の疑いのあるとき、動かしてさらに悪化させないように、雑誌や新聞紙で固定

気をつけよう

出血しているときはその手当をする
新聞紙などをあてるときは、骨折した部分の上と下の関節を固定できる長さ、強さ、幅が必要

- ・新聞紙(2日分くらいの厚み)で、骨折しているところを挟み込むようにあてる
- ・骨折した部分の上と下の関節より長いもので固定する
- ・ガムテープでとめる



【前腕の場合】

肘や関節が動かないように固定

- ・ガムテープを使って、腕をつる
- ・骨折した部分の上と下の関節が動かないよう固定
- ・腕の場合、ケガをしている腕に負担をかけないように、反対の肩で支える
- ・腕を地面と水平に保つ



右腕を固定して左肩で支えている



ケガをした腕



左腕を固定して左肩で支えている








ケガをした腕

県立防災センター体験カリキュラム（例）

県立防災センターでは、ツアー形式で災害の模擬体験室を案内して回るほか、自由に体験できる、防災対策展示コーナー、通報体験コーナー、VR避難体験コーナーなどがあります。

災害に対する正しい知識を持ち、どのような準備をすればよいのか、災害発生時にはどのような行動をとるのかなど、もしもの時の防災行動を体験しながら学習できる施設です。

学校での防災カリキュラムとしてご活用ください。

経過時間 (所要時間)	体験項目	学習内容
○体験ツアー 1班：45人 所要時間：約1時間30分		
20分 (20分)	1. 防災ガイダンス 	映画館のような大スクリーンで、災害に対する日頃の備えや心構えと、本県に想定される各種災害の知識や対策などを映像により紹介します。
40分 (20分)	2. 地震体験 	ダイニングキッチンで、震度5強の揺れと、兵庫県南部地震（震度7）を再現した揺れを体験し、身体の保護や出火防止、避難路の確保など、地震時の適切な行動を体験します。
55分 (15分)	3. 消火体験 	大型スクリーンに映された火災の映像に向けて、水消火器で実際に放水し、初期消火の基本的な知識や手順を体験します。
65分 (10分)	4. 煙体験 	煙の充満した通路を、誘導灯を頼りに避難する体験を通して、煙に巻かれたときの正しい判断、避難行動を体験します。また、火災時の煙の特性やその恐ろしさについての説明も受けます。 (使用する煙は人体に無害で、匂いがついていません。)
85分 (20分)	5. 風体験 	風速30m/sの暴風を実感し、風害についての説明を受けることで、日頃の備えの重要性を喚起します。 小学校2年生以下は、風速20m/sで体験します。

経過時間 (所要時間)	体験項目	学習内容
○自由体験・見学コーナー		
自由に時間を設定することができます。	■防災対策展示コーナー 	防災グッズや非常食品などの展示品と、災害に備えて家族みんなで話し合うこと、日頃から家の周りの安全点検をすることなどのパネルから、災害への備えについて学ぶことができます。
	■通報体験 	事故や災害をいち早く知らせ、適切な処置が素早くできるよう、状況を正確に伝える通報の体験ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・119番通報の良い例・悪い例が試聴できます。 ・通報者と消防士に分かれて、119番の通報練習ができます。
	■避難VR体験 	モニターからの質問に答えながら、学校、デパートなどいろいろな場所からの適切な避難の方法を学ぶことができます。それぞれの場所で、地震が起きたときの状況がイメージできます。
	■救命体験 	応急処置（心肺蘇生法、止血法など）について学ぶことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・指導員による講習（※要予約） ・映像による心肺蘇生法の学習

徳島県立防災センター もしもの時の、身の守り方を体験しながら学習できます。



ご利用について(入場無料)

- 開館時間 / 9時～17時
- 休館日 / 月曜日、第1火曜日、年末年始(12月28日～1月4日)
月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館します。
第1火曜日が祝日の場合は、開館します。

※10名様以上の団体でのご利用は、事前にご予約ください。

交通のご案内

- 徳島バス大麻線または鳴門立道線:
フジグラン前バス停から徒歩約5分
- JR吉成駅:車で約5分
- 徳島自動車道:藍住ICから車で約10分
- 四国横断自動車道:板野ICから車で約20分
- 神戸淡路鳴門自動車道:鳴門ICから車で約15分

※駐車場は一般車両21台、大型バス5台が駐車できます。
〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165
TEL088-683-2000 FAX088-683-2002



★ホームページ http://anshin.pref.tokushima.jp/normal/disaster_center/index.html

とくしまけんりつぼうさい たいけんがくしゅう ふかえ
 徳島県立防災センター体験学習 振り返りシート

ぼうさいたいさくてんじ
 防災対策展示コーナー

- どんなものが展示してありましたか。

--

- あなたの家ではどのようなものを準備していますか。

--

- あなたの家でこれから準備したほうがよいものを書きましょう。

--

じしんたいけん
 地震体験

- 地震が起きたとき、台所ではどのように行動すればよいでしょう。

①	
②	
③	

- あなたの家の台所は地震が起きたらどうなるでしょう。

冷蔵庫は？	
食器棚は？	
電子レンジや炊飯器は？	
シンク棚は？	

- あなたの部屋にある大きな家具などを書き出して地震が起きたらどうなるか考えてみましょう。
 (布団やベッドの上に倒れてくる家具や落ちてくるものには○印をつけてみましょう)

- もし突然大きな地震が起きたらどう感じると思いますか。

--

しょうかたいけん
消火体験

- 火災を発見したらどうすればよいでしょう。

大きな声で「」とさけぶ。

- それはなぜですか。

- 消火器を使う順番を答えましょう。

① を抜く。

② を持つ。

③ を握る。

- 消火器の液はどこをねらってかけるとよいでしょう。正しい方に○印をつけましょう。

- ・ 炎をねらう。
- ・ 火の出ているところ（燃えているもの）をねらう。

- 火災を出さないためにあなたはどんなことに気をつけたらよいでしょう。

けむりたいけん
煙体験

- 火災から逃げる方法で間違っているものに○印をつけましょう。

- ・ 煙は上へ昇るので、高いところへ逃げてはいけません。
- ・ 煙は甘い匂いがするので、吸い込みながら逃げてもよい。
- ・ 階段を降りて逃げるときは、後ろ向きに這って降りるとよい。

- 煙を吸い込まずに逃げるにはどうすればよいでしょう。

- 下に書いてあることが正しい場合は()に○を、間違っている場合は×を書きましょう。

- ・ () 煙をたくさん吸い込むと、体が動かなくなり、逃げられなくなる。
- ・ () 誘導灯の矢印の向きは避難路とは関係ない。



誘導灯

かぜたいけん
風体験

- 強い風で飛ばされるかもしれないものはどれでしょう。○印をつけましょう。

- ・ 植木鉢 ・ 車庫の屋根 ・ 屋根瓦 ・ 自転車 ・ 傘 ・ 看板

- あなたの家の庭やバルコニーに強い風で飛びそうなものがあれば書きましょう。

- 外にいるとき、立ってられないような強い風が吹いてきたら、どうすればよいでしょう。

ぼうさいたいさくてんじ
 防災対策展示コーナー

- どのようなものが展示してありましたか。

ひじょうも だ ぶくろ い か ぐてんとうぼうし たいさく かんい ぼうかよう ひじょうようかいちゆうて
 非常持ち出し袋に入れるもの、家具転倒防止対策グッズ、簡易トイレ、防火用バケツ、非常用懐中電
 灯、防災ずきん、ヘルメット、スプレー式消火器、携帯用コンロ、寝袋など

- あなたの家ではどのようなものを準備していますか。

みず た もの くすり かいちゆうでんとう
 水、食べ物、薬、懐中電灯、ラジオ

- あなたの家でこれから準備したほうがよいものを書きましょう。

じしんたいけん
 地震体験

- 地震が起きたとき、台所ではどのように行動すればよいでしょう。

①	テーブルの下にもぐり、頭を守る
②	ガスの火を消す
③	ドアが開くか確認する

- あなたの家の台所は地震が起きたらどうなるでしょう。

冷蔵庫は？	倒れる。ドアが開いて中のものが飛び出す。
食器棚は？	倒れる。扉のガラスが割れる。食器が飛び出て割れる。
電子レンジや炊飯器は？	台から落ちる。
シンク棚は？	扉が開いて中のものが飛び出す。

- あなたの部屋にある大きな家具などを書き出して地震が起きたらどうなるか考えてみましょう。
 (布団やベッドの上に倒れてくる家具や落ちてくるものには○印をつけてみましょう)

本棚	倒れる。本が飛び出す。	ピアノ	動く。倒れる。
学習机	動く。本が落ちる。	ベッド	動く。
洋服ダンス	倒れる。		

- もし突然大きな地震が起きたらどう感じると思いますか。

しょうかたいけん 消火体験

- 火災を発見したらどうすればよいでしょう。

大きな声で「火事だ!!」とさけぶ。

- それはなぜですか。

周囲に火災を知らせるため。

- 消火器を使う順番を答えましょう。

- ① 安全ピン(黄色いピン) を抜く。
- ② ホース を持つ。
- ③ レバー を握る。

- 消火器の液はどこをねらってかけるとよいでしょう。正しい方に○印をつけましょう。

- ・ 炎をねらう。

○ 火の出ているところ(燃えているもの)をねらう。

- 火災を出さないためにあなたはどんなことに気をつけたらよいでしょう。

- ・ 火遊びをしない。
- ・ 大人のいないところでライターやマッチを使わない。

けむりたいけん 煙体験

- 火災から逃げる方法で間違っているものに○印をつけましょう。

- ・ 煙は上へ昇るので、高いところへ逃げてはいけません。

○ 煙は甘い匂いがするので、吸い込みながら逃げてもよい。

- ・ 階段を降りて逃げるときは、後ろ向きに這って降りるとよい。

- 煙を吸い込まずに逃げるにはどうすればよいでしょう。

- ・ タオルやハンカチ、衣服などで鼻と口を覆う。
- ・ 姿勢を低くする。

- 下に書いてあることが正しい場合は()に○を、間違っている場合は×を書きましょう。

- ・ (○) 煙をたくさん吸い込むと、体が動かなくなり、逃げられなくなる。

- ・ (×) 誘導灯の矢印の向きは避難路とは関係ない。



誘導灯

かぜたいけん 風体験

- 強い風で飛ばされるかもしれないものはどれでしょう。○印をつけましょう。

○ 植木鉢 ○ 車庫の屋根 ○ 屋根瓦 ○ 自転車 ○ 傘 ○ 看板

- あなたの家の庭やベランダに強い風で飛びそうなものがあれば書きましょう。

植木鉢、カーポートの屋根、自転車

- 外にいるとき、立ってられないような強い風が吹いてきたら、どうすればよいでしょう。

回答例：家から出ない。近くの建物に入って風がおさまるのを待つ。など

県内に残る地震・津波碑（5）

牟岐「大震潮記念碑」、「牟岐町南海震災記念碑」



所在地 海部郡牟岐町中村字本村14 牟岐小学校前
建 立 大震潮記念碑:昭和6年(1931) 5月1日
南海震災記念碑:昭和53年(1978)12月21日

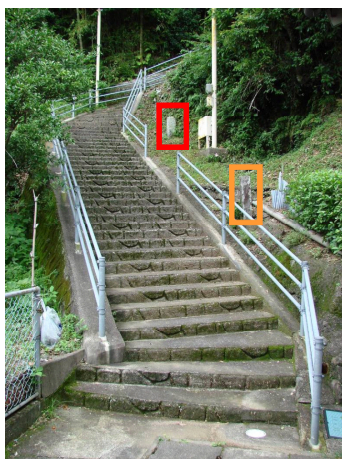
安政南海地震(1854.12.24)(向かって右)と昭和南海地震(1946.12.21)(向かって左)の碑があり、その碑の間には昭和南海地震の最高潮位4.52mを示す標識も建てられています。

碑は私たちに津波への注意を促しています。

「小中学校まなぼうさい教室」教材集

県内に残る地震・津波碑（6）

浅川観音堂石段「津波襲来地点石標」



所在地 海部郡海陽町浅川字イナ 観音堂石段
建 立 不 詳



安政南海地震(1854.12.24)時(写真中央)及び昭和南海地震(1946.12.21)時(写真右)のそれぞれの津波の到達点を示す石標が建てられています。

パワーポイント教材

「南海地しんを知る」

趣 旨

徳島県では、今後30年以内に60%程度の高い確率で「南海地震」が発生し、最大で死者4,300人という、甚大な被害が予想されています。

このように南海地震がいつ起こってもおかしくない状況の中、日頃から、「南海地震」についての関心や理解を深め、地震に備えることの大切さについて学ぶことにより、被災時には、生徒・児童が自らの的確な判断の下で防災行動がとれるよう「防災教育」を積極的に推進していくことが非常に重要です。

この教材は、小学校高学年を対象に、南海地震はなぜ起こるのか、どんな地震なのかなどについて学ぶことができますものとなっています。

徳島新聞社「まなぼうさいキャラクター」を使用しています。

テーマ

「南海地震を知る」

伝えたいこと

- ①南海地震・津波は歴史的に繰り返し発生していること
- ②南海地震とはどんな地震なのか
- ③南海地震に備えて自分たちにはどんなことができるのか

使用方法

・「南海地震は歴史的に繰り返し発生していること」「南海地震とはどんな地震なのか」「南海地震に備えて自分たちにはどんなことができるのか」といった内容について学ぶパワーポイントです。

・学校内の授業にあわせて、必要なスライドを選択して使うことができます。

但し、他のパワーポイントや印刷物への写真転載などの二次使用はできません。

必要なソフトウェア

パワーポイント97以降のバージョンに対応。

パワーポイントがない場合は、パワーポイントビューアで見ることができます。

パワーポイントビューアは、無料でダウンロードができます。

パワーポイントには動画を挿入しているため、動画を再生できるソフトウェアが必要です（Windows Media Playerなど）。

制 作

徳島県防災教育推進委員会

- ・徳島大学環境防災研究センター
- ・（社）徳島新聞社
- ・四国大学短期大学部
- ・徳島県
- ・徳島文理大学
- ・徳島県教育委員会

防災動画教材

「津波碑から学ぶ とくしま地震の歴史」

趣 旨

南海地震は過去歴史的に繰り返し発生しており、徳島県ではこれまで多くの被害を受けてきました。県内には過去の南海地震・津波に関する記念碑、供養碑などが多く残されています。

この動画教材は、小学校高学年を対象として、南海地震の歴史を振り返り、過去の地震・津波碑から、当時の被害状況や先人の想いを学び、南海地震への理解を深めるために制作しています。

テーマ

「南海地震を知る」

伝えたいこと

- ①南海地震・津波は歴史的に繰り返し発生していること
- ②地震・津波碑からわかる当時の被害や教訓
- ③地震・津波碑が守られてきた理由
- ④南海地震への備えの大切さ

使用方法

- ・学校における社会科の調べ学習などで導入用として使用してください。
- ・地域において南海地震の歴史や過去の被害を知るための防災学習などに使用してください。

必要な ソフトウェア

- ・Windows Media Player
Windows Media Playerは無料でダウンロードできます
(<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows/products/windows-media-player>)

制 作

徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科
総務省四国総合通信局
徳島県



防災エンターテインメント動画

「浜神から逃げろ」

趣 旨

「浜神から逃げろっ!!」は南海地震による津波からの避難を題材としたコメディータッチの実写映像作品です。舞台は徳島県美波町由岐地区、南海地震による津波に襲われる想定で、地震直後の正しい避難行動が学べます。美波町消防防災課および由岐地区の住民防災グループの協力のもと、主役の「浜神」はじめ多数の住民の方々がキャストとして登場しています。お堅くなりがちな防災啓発のイメージを打破して興味を持って頂くため、あえて「笑える」エンターテインメント作品としてデザインしました。

テーマ

防災エンターテインメント動画
「地震直後の津波から身を守る」

伝えたいこと

- ①すばやく避難をする必要があること
- ②高い場所へ避難すること
- ③海、船の様子を見に行ってはいけないこと
- ④日頃から避難場所を確認しておくこと

使用方法

・地震後の津波から身を守るための、防災学習の導入時に使用して下さい。

必要な ソフトウェア

Adobe製 FlashPlayerのインストールされたインターネットブラウザ
FlashPlayerは無料でダウンロードできます (<http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/>)

制 作

徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科
美波町消防防災課
由岐地区住民防災グループ
徳島新聞社



「南海地震を知る 徳島県の地震・津波碑

趣 旨

南海地震は過去歴史的に繰り返し発生しています。徳島県内には過去の南海地震・津波に関する地震・津波碑が多数残されており、当時の被害状況や先人の想いなど今後の地震・津波防災に生かすべき有用な多くの教訓が刻まれています。

これらの碑から、災害の歴史や後世の人々に同様の被害にあって欲しくないという先人の想いを知り、次の南海地震への備えに取り組んでください。

テーマ

「南海地震を知る」

伝えたいこと

- ①南海地震・津波は歴史的に繰り返し発生していること
- ②地震・津波碑からわかる当時の被害や教訓
- ③地震・津波碑が守られてきた理由
- ④南海地震への備えの大切さ

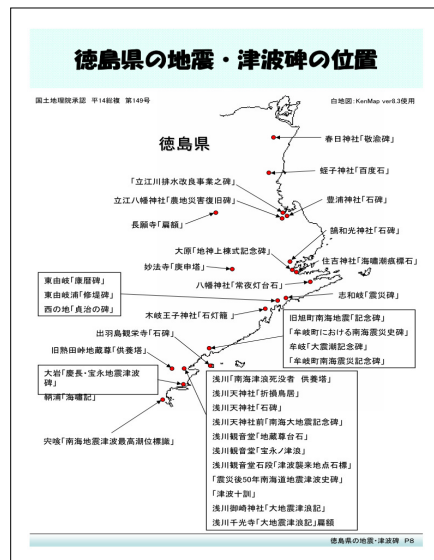
使用方法

・PDFファイルにより、日本最古といわれる津波碑から近年再建された碑など、県内各地に残される地震・津波に関する記念碑、供養碑や扁額などを1つずつ紹介しています。

・地域や学校において南海地震の歴史や過去の被害を知るための防災学習などに使用してください。

制作

徳島大学環境防災研究センター
徳島県



語り継ぐ昭和南海地震

趣 旨

昭和南海地震から64年が経ち、その体験談が聞かれなくなってきました。今、その体験談を映像等に残しておかなければ、いずれは全く聞くことができなくなる時が必ずやって来ます。そこで西の地防災きずな会（美波町由岐地区）は、徳島文理大学ならびに徳島大学と連携して、教訓という名のタスキを次世代につなぎ、次の南海地震に向けて防災力の向上を図ることを目的に、昭和南海地震体験談を中心とした地域独自の防災動画教材（DVD2枚組）を制作しました。（2010年度防災教育チャレンジプラン）

テーマ

「地震・津波から命を守る」

内 容

- 【DVD】
- ①昭和南海地震体験者7名から、対談形式で地震・津波の様子や津波から避難したこと等をお話いただき収録。
 - ②徳島大学環境防災研究センターの協力により、次の南海地震の被害想定やその備えのポイント等について収録。

伝えたいこと

日頃から避難場所を確認しておく。
津波からはとにかく迅速な避難がいちばん。
次の南海地震は、昭和南海地震よりも規模が大きくなる。
南海地震対策は、防災対策のみならず、地域力を維持・向上させることが重要である。

使用方法

学校での防災教育や、地域での防災学習会等でご活用下さい。

制 作

美波町西の地防災きずな会
徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科



気象庁地震津波監視課所蔵

県内に残る地震・津波碑（7）



大岩「慶長・宝永地震津波碑」

所在地：海陽町鞆浦字北町

建 立：慶長碑 寛文4年(1664)

宝永碑 不 詳

慶長南海地震（1605.2.3）（向って左）と
宝永地震（1707.10.28）（同右）の碑文が刻
まれています。

慶長の津波碑は、四国で地震・津波の様子が記された最古の碑です。

平成23年3月発行

小中学校まなぼうさい教室支援事業 報告書

**徳島県危機管理部南海地震防災課
(県立防災センター)**

〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165

TEL : 088-683-2100 FAX : 088-683-2002

URL http://anshin.pref.tokushima.jp/normal/disaster_center/index.html
